

事業者達成状況報告書



令和7年 月 日

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 東京都新宿区市谷本村町5番地1号

氏名 防衛省
陸上幕僚長 森 下 泰 臣
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項（第9条第3項）の規定により次のとおり提出します。

住所（主たる事業所の所在地）	東京都新宿区市谷本村町5番地1号						
氏名（名称及び代表者の氏名）	陸上幕僚長 森 下 泰 臣						
主たる業種	97 国家公務						
該当する事業者要件	☒ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 ☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 ☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 ☐ 特定事業者以外の事業者						
計画期間	令和4年4月 ～ 令和7年3月						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （令和3）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （令和6）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	報告年度（実績） （令和6）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	
	排出量（1）	1,514.5 t	1,469.8 t	△ 3.0 %	2,639.1 t	74.3 %	
	実績に対する自己評価	夏季の気温上昇に伴う冷房運転の時間増加によりエネルギー使用量が増加した					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率	報告年度（実績）	増減率
	事務所	二酸化炭素換算 延床面積	29 t/千㎡	28 t/千㎡	△ 3.0 %	51 t/千㎡	74.3 %
		二酸化炭素換算			%		%
		二酸化炭素換算			%		%
	実績に対する自己評価	温室効果ガスの排出量等の実績に対する自己評価に同じ。 （駐屯地は延床面積41千平方メートル、分屯地は10千平方メートル及び地方協力本部は0.6千平方メートルを原単位指標として計算）					
寄与的取組	取組区分	目標年度（計画）		報告年度（実績）			
		実数値	二酸化炭素換算の削減量	実数値	二酸化炭素換算の削減量		
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給	(発電量) kWh	t	(発電量) kWh	t		
		(熱供給量) GJ	t	(熱供給量) GJ	t		
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	-	t		
	森林保全による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	-	t	-	t		
	電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	(購入量) GJ	t		
	削減量等合計（2）	0 t		t			
差引排出量（1）－（2）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）		
	1,514.5 t	1,469.8 t	△ 3.0 %	2,639.1 t	74.3 %		

7/29 ㊟

推進体制

```
graph TD
    A[特定事業者  
防衛省] --> B[事務次官]
    B --> C[陸上自衛隊長]
    B --> D[中野方面總監]
    B --> E[エネルギー管理統括者  
(地方協力局長)]
    E --> F[エネルギー管理企画推進者  
(地方協力局環境政策課企画調整官)]
    C --> G[陸上自衛隊エネルギー管理統括者  
(防衛部施設課長)]
    G --> H[陸上自衛隊エネルギー管理企画推進  
(環境保全班長)]
    D --> I[中野方面陸エネルギー管理統括者  
(整備部施設課長)]
    I --> J[中野方面陸エネルギー管理企画推進  
(整備部施設課室長)]
    E -.- K[各駐屯地エネルギー管理統括者  
(駐屯地業務隊長)]
    E -.- L[各駐屯地(任意)エネルギー管理員  
(エネルギー管理専門官等)]
    E -.- M[地方協力本部エネルギー管理統括者  
(地方協力本部長)]
    E -.- N[地方協力本部(任意)エネルギー管理員  
(管理班長等)]
    K --> O[駐屯地]
    K --> P[分屯地]
    K --> Q[演習場]
    K --> R[射撃場]
    K --> S[訓練場]
    M --> T[本部]
    M --> U[募集案内所]
    M --> V[地域事務所]
```

年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	内容
	令和6年度	陸上自衛隊米子駐屯地・美保分屯地・鳥取地方協力本部	損耗更新時の環境物品等の購入推進
	令和6年度	陸上自衛隊米子駐屯地・美保分屯地・鳥取地方協力本部	昼休みの一斉消灯、不要な照明の消灯、〇A機器の設定等による待機電力の削減。
	令和6年度	陸上自衛隊米子駐屯地・美保分屯地・鳥取地方協力本部	蛍光灯をLEDへ更新
	令和6年度	陸上自衛隊米子駐屯地・美保分屯地	保温ジャケットの設置

地球温暖化対策に資する社会貢献活動

鳥取県西部総合事務所発足「月ヶ浜の白砂青松（砂浜・松林）」の清掃に参加し、緑化活動等を行った。

特記事項

対象施設

- 「陸上自衛隊米子駐屯地」鳥取県米子市両三柳2603
- 「陸上自衛隊日光演習場」鳥取県日野郡溝口町福兼字福永堀谷頭
- 「陸上自衛隊米子自動車訓練場」鳥取県米子市岡成字源六新田522-2
- 「陸上自衛隊米子射撃場」鳥取県米子市河崎3286-1
- 「陸上自衛隊美保分屯地」鳥取県境港市小篠津町
- 「鳥取地方協力本部」鳥取県鳥取市富安2-89-4鳥取第一合同庁舎6階
- 「鳥取地方協力本部鳥取募集案内所」鳥取県鳥取市東町2丁目302 鳥取第二地方合同庁舎1階
- 「鳥取地方協力本部倉吉地域事務所」鳥取県倉吉市駄経寺町2丁目15 倉吉地方合同庁舎3階
- 「鳥取地方協力本部米子地域事務所」鳥取県米子市西福原3丁目3-1 YNT第4ビル2階

注1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。

3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。

4 主たる業種には、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。

5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。

7 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の実施などを記入してください。